

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2018-185380 (P2018-185380A)

【公開日】平成 30 年 11 月 22 日 (2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-045

【出願番号】特願 2017-85812 (P2017-85812)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/26 (2006.01)

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

G 0 9 G 5/22 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

G 0 6 F 40/109 (2020.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/26 G

G 0 9 G 5/38 Z

G 0 9 G 5/26 R

G 0 9 G 5/22 6 3 0 G

G 0 9 G 5/00 5 1 0 H

G 0 9 G 5/00 5 5 5 D

G 0 6 F 3/0481

G 0 6 F 17/21 6 4 0

G 0 6 F 12/00 5 1 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 10 日 (2020.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

表示データ生成部 182 は、ユーザーにより指定されたウェブコンテンツをサーバー装置 30 からダウンロードし、ダウンロードしたウェブコンテンツのファイル形式の変換を行う。

具体的には、表示データ生成部 182 は、ダウンロードしたウェブコンテンツが、ワードや、エクセル、パワーポイント等のドキュメントファイルである場合、このドキュメントファイルを、ウェブページを構成するデータに変換する。ドキュメントファイルは、本発明の「データファイル」に相当する。また、ウェブページを構成するデータは、本発明の「表示データ」に相当する。ウェブページを構成するデータには、HTML (Hyper Text Markup Language) により記述された HTML ファイルや、CSS (Cascading Style Sheets) ファイル、JavaScript (登録商標) コード、画像データ等が含まれる。HTML ファイルには、ウェブページのタイトルや、使用している文字コード、リンク情報、ウェブページ内の各要素のスタイル等が記述された HTML ヘッダーが含まれる。また、HTML ファイルには、ウェブページの本文となる文書が記述されたテキストデータである HTML ボディーが含まれる。CSS ファイルは、ウェブページ内の画像や文字、記号等の表示要素の表示スタイルを指定するファイルである。CSS ファイルは、ウェ

ブページを構成するデータに必須の構成ではなく、例えば、HTMLファイル内にウェブページ内の各要素のスタイルを記述する形式である場合、CSSファイルは不要である。

HTMLファイルは、本発明の「表示内容の情報」、又は「表示内容の情報」及び「レイアウトの情報」に相当する。また、CSSファイルは、本発明の「レイアウトの情報」に相当する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

表示制御部183は、表示データ生成部182により変換されたウェブページを構成するデータに含まれるHTMLファイルやCSSファイルを解析し、解析結果に基づいてウェブページのレイアウトを決定する。表示制御部183は、決定したレイアウトでウェブページを表示パネル131に表示させる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0044】

アプリ画面191には、ウェブページ画面192に表示されたウェブページの文字サイズを変更可能な文字サイズ調整表示部135が表示される。文字サイズ調整表示部135は、本発明の「受付部」に相当する。また、文字サイズ調整表示部135が表示されたアプリ画面191は、本発明の「サイズ指定画面」に相当する。

表示制御部183は、ダウンロードされたウェブコンテンツがドキュメントファイルであった場合、アプリ画面191に文字サイズ調整表示部135を表示させる。文字サイズ調整表示部135には、ウェブページ画面192に表示されたウェブページの文字サイズ（相対値）と、ウェブページの文字サイズを縮小させる縮小ボタン136と、文字サイズを拡大させる拡大ボタン137とが含まれる。縮小ボタン136及び拡大ボタン137は、本発明の「受付部」に相当する。